

横浜市男女共同参画センター

市民・NPO がつくる
男女共同参画事業

事例集

2014年 12月

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会

目次

1	事例集の目的	1
2	「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」とは	1
(1)	概要	
(2)	「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」がめざすもの	2
(3)	協働の相互評価	
3	実施事例より	
(1)	市民企画講座・ワークショップ	
①	メイクレッスンによるこころのケア／一般社団法人 Turn to Smile	3
②	妊娠・出産準備講座／Women's Happy Project	4
③	ココロが楽になるコミュニケーション講座／大きな木の会	5
④	おもしろ科学体験塾 in みなみ／NPO 法人おもしろ科学たんけん工房横浜東	6
⑤	障がいのある子とともに“あたりまえに学ぶ、おおらかに働く、ゆかいに生きる” ／マザーズ・ジャケット	7
⑥	パパのベビーマッサージ／HAPPY FAMILY PROJECT 横浜チーム	8
(2)	地域出前企画	
①	ろう・難聴女性のエンパワメント／Lifestyles of Deaf Women	9
②	シニア女性とティーンズが出番！情報をつかんで生き残れ！異世代で考える 防災・減災術／NPO 法人シャーロックホームズ	10
③	LGBT から辿る 多様性を踏まえた人間関係の構築／NPO 法人 ReBit	11
(3)	啓発教材・調査研究企画	
	セクシュアル・マイノリティ理解のために～子どもたちの学校生活と心を守る～ ／NPO 法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク	12
4	選考委員からのメッセージ	13
5	資料	15
	2011 年度～2013 年度の当協会における市民企画一覧	

1 事例集の目的

本事例集の目的は、横浜市男女共同参画センター3館(以下「センター」と言う)で2011年度～2013年度に実施した「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」の中から、モデルとなる事業を紹介することである。この間に実施した事業は、市民企画講座事業・ワークショップ事業66件、地域出前企画15件、啓発教材・調査研究企画2件の計83件にのぼるが、そのうち、課題設定や解決手法に男女共同参画の視点が十分に生かされており、新規性や独自性があるものを選び、さらに事業実施後に「センター」と実施グループとで行う相互評価の結果も参考にして、10の事例を抽出した(ただし啓発教材・調査研究企画については、2009年度事業を紹介)。

これらの事例が、「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」において期待される協働事業のありかたの参考となれば幸いである。

2 「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」とは

(1) 概要

「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」は、「センター」3館が合同で年1回募集、選考を行った後、各館で事業を実施する公募型協働事業である。2014年度の募集概要は次のとおり。

募集区分と内容	助成金(上限)	募集数(上限)
市民企画講座・ワークショップ 「センター」3館のいずれかで開催する講座・ワークショップの企画	—	センター横浜(10) センター横浜南(6) センター横浜北(10)
地域出前企画 横浜市内の学校や地区センターなどで開催する出前講座の企画	15万円	センター横浜(2) センター横浜南(1) センター横浜北(2)
啓発教材・調査研究企画 啓発教材の企画(冊子・パンフレット・ポスターなどの紙媒体のほか、DVDやインターネット放送などの電子媒体を含む)制作や調査研究企画	30万円	センター横浜(1)

(2) 「市民・NPOがつくる男女共同参画事業」がめざすもの

この事業の趣旨は、次のとおりである。

① 男女共同参画のすそ野の拡大

NPO、市民グループ等と「センター」が対等に協働することにより、市民の視点を生かした幅広い事業を実施し、その成果を市民に還元するとともに地域における男女共同参画のすそ野を広げる。

② インキュベーション

男女共同参画に関連する領域で活動しようとする市民グループが、協働事業を通じて企画力、運営力を高められるよう、実践的な支援を行う。

③ ネットワークの形成と発信

協働事業を通じて市民グループと「センター」の相互理解を深めるとともに、市民グループどうしの連携を広げる。また男女共同参画をキーワードにした持続的な地域のネットワークを形成し、ネットワークを通じた発信力を高めていく。

(3) 協働の相互評価

本事業では、協働事業を地域における男女共同参画の推進という目的達成に向けてより効果的に実施するために「協働事業の計画／評価／振り返りシート」（協働事業シート）を用いている。これは、「センター」と実施グループの両者によるマネジメントサイクル(PDCA サイクル)のためのツールである。このシートを基本に、協働事業は次のようなプロセスに従って実施されている。

①Plan 計画立案の段階で事業の目的、目標を両者で共有

②Do 事業を実施

③Check 終了後に共通の項目に沿って相互に評価

④Action 改善に結びつけるための検証作業

さらに、プロセス③における実施後の相互評価の項目は以下のとおりである。

①事業目的・目標の共有化・・・事業を開始するに当たって、当該事業の目的・目標を共有していたか。

②相互理解の促進・・・互いの組織について、その目的や活動内容、課題等について理解が深まったか。

③対等の下での協働・・・互いの自主性、自発性を尊重し、対等な関係の下で協働することができたか。

④事業の円滑な遂行・・・事業計画どおり円滑に実施できたか。

⑤協働のメリット・・・協働のメリットがあったか。

⑥透明性の確保・・・市民への情報提供は十分だったか。

以上のような相互評価システムにより、事業の実施を通じて両者で十分な意見交換が行われ、さまざまな分野の課題解決に男女共同参画の視点が生かされ、「センター」と実施グループとの信頼関係が構築されるなどの効果がある。

【市民企画講座・ワークショップ①】

男女共同参画センター横浜

事業名	メイクレッスンによるこころのケア～大切なわたしの笑顔を取り戻すために
企画テーマ	女性の心とからだと性の健康・女性と子どもに対する暴力防止
グループ名	一般社団法人 Turn to Smile (たんとすまいる)
グループ概要	DV経験者による、DV経験者の回復自立支援活動(アフターDV支援活動)を中心に、DV/デートDV防止啓発活動を行う非営利法人。2012年8月設立。 HP http://www.turn-to-smile.org/
協働年	2013年度

○実施概要

目的	DV その他の心の傷をもつ女性に、メイクアップや心のケアのためのワークを通して自分を大切にすることを伝え、回復をめざすこと。
日時	2013年10月10日、11月14日、12月12日、2014年1月9日、2月13日、3月13日 全6回 すべて水曜日 13:30～15:30
場所	男女共同参画センター横浜 セミナールーム
対象	DV等により心に傷をもつ女性
参加者数	定員48人(各回8人) 申込人数54人 参加者数49人
講師	宗像美由(一般社団法人 Turn to Smile 代表)
内容	メイクと心のケアワークのための作業や話し合いを行い、自分を大切にすることや、あたたかい場で安全に守られている感覚を体験する。
参加費	各回1,500円
広報手段	協会HP、Fナビ、グループHP、チラシ

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

身体的な心地よさや楽しさが感じられるマッサージやメイクアップのほか、自己尊重感を高める歌づくりや塗り絵、グループでの話し合いなど、心のケアに重点が置かれた講座内容に、参加者の満足度は高く、再受講したいとの声が多かった。

講座中に緊張が解けて泣き出す参加者もいたが、DVを経験した当事者でもあるスタッフによる受け止めやケアによって、参加者が「大事にされている」との感覚を持てる場を提供できた。DVや女性と暴力についての深い理解をもって、男女共同参画社会を実現するための社会課題を掘り起し、企画から実施までの全てのプロセスをスムーズに運営することができ、センターのスタッフも協働を通じ学びを深めることができた。

◆グループ

協働で事業をさせていただいたことは、DV等の傷つき体験を持った女性に必要な心身両面でのケアを促す良い機会になったと思っています。参加者自身がメイクレッスンとワークショップを楽しみながら自分を大切に感じる気づきを深め、日常の中でも自分と向き合う機会をつくり、楽しみながら取り組んでいる様子が多く見受けられました。また、そうした姿に参加者同士が刺激を受け、自分と仲間の変化を共に喜ぶ素敵なエンパワメントの場になっていたように感じています。それぞれの参加者が自己肯定感を高め、自分の未来を前向きに捉えるきっかけの一つになったと強く感じています。



【市民企画講座・ワークショップ②】

男女共同参画センター横浜

事業名	「妊娠・出産準備教室」～ココロの準備とからだ作り
企画テーマ	女性の心とからだと性の健康・みんなで担う子育て・男性にとっての男女共同参画
グループ名	Women's Happy Project
グループ概要	これから地域で妊娠・出産する女性やそのパートナーと、その知識と経験を分かち合い、妊娠・出産期の女性の心とからだの健康をサポートする、妊娠・出産・産後ケアにかかわる専門家のグループ。2011年5月設立。HPなし
協働年	2012年度、2013年度(男女共同参画センター横浜南) ※事例は2012年度

○実施概要

目的	妊娠・出産に向けての女性の心とからだの準備と、それをサポートするパートナーへのアプローチを通して、自分と向き合い、パートナーシップについて考える。
日時	2012年10月20日、11月10日・17日、12月1日・15日 全5回 すべて土曜日 10:30～12:00
場所	男女共同参画センター横浜 和室
対象	妊娠を考えている女性、妊婦とそのパートナー
参加者数	定員20組／申込数19組／参加者10組～19組
講師	岡村やよい(うみと森助産院 助産師)、ミムラヒロコ(自然療法サロンテノヒラ 主宰・セラピスト)、Hilo(yoga インストラクター)
内容	自分らしく幸せで心地よいお産が迎えられよう、暮らしを見つめなおし、日常生活に気軽に取り入れられる食のヒント、ハーブの活用法や運動法などを伝える。
参加費	1組4,000円(単発受講は1組1,000円)
広報手段	協会HP、Fナビ、ちらし、講師ブログ・ツイッター・フェイスブック

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

普段センターに来館することが少ない20代～30代の男性の参加が多くみられ、センターを知ってもらいきっかけになった。また女性参加者からは、パートナーとともに参加できたことが出産やその後に続く育児への安心感につながったとの感想が聞かれた。男性参加者は回を重ねるごとに前向きな姿勢が見られ、講座終了後も妊娠・出産に向けて、カップルで気持ちを共有し、協力する基盤づくりになったと考える。また長期間にわたる講座のため、グループメンバーらが講座実施日前日に出欠確認メールやスタッフブログのURLを送付。講座実施後には、毎回ブログで講座の様子を伝えるなど細やかにフォローを行った。その結果、「振り返りになった」「欠席したが、当日の様子が共有できた」など、参加者から高い満足度を得た。

普段から妊娠・出産にかかわる講師らのコラボ企画として当事者のニーズを的確にとらえた講座内容であったことが参加者から高く評価された。

◆グループ

参加者からは高い満足度を得ることができた。妊娠準備へのニーズはあるものの、受け皿になる講座があまりない中、男女共同参画の視点で、センターで開催できたことに大きな意味があった。知識偏重ではなく、ワークショップ形式の多面的なアプローチを取ったこと、3カ月間かけて実施したことにより、受講者の変化を見ることができた。初めてセンターに来館した参加者も多く、協働の成果があった。



【市民企画講座・ワークショップ③】

男女共同参画センター横浜南

事業名	ココロが楽になるコミュニケーション講座
企画テーマ	女性の心とからだ性と健康・男性にとっての男女共同参画
グループ名	大きな木の会
グループ概要	男女共同参画センター横浜南での「アサーティブ入門講座」後に、地域におけるファシリテーターになるための勉強を深めるために結成した事後グループ。2010年5月設立。2014年3月解散。HPなし
協働年	2011年度、2012年度、2013年度 ※事例は2013年度

○実施概要

目的	家庭や職場、グループやPTAなど公私の場で人間関係を円滑にし、小さなコミュニティの活性化につなげるために、ファシリテーターを担おうとする個人のコミュニケーション力を高めることで、男女共同参画を推進し、地域力の向上を図る。
日時	2014年1月18日、2月1日・15日、3月1日 全4回 すべて土曜日 10:00～16:00
場所	男女共同参画センター横浜南 大会議室
対象	一般市民 男女
参加者数	定員120人 申込者数64人 参加者数59人(4日間のべ)
講師	中野満知子(アサーティブネストレーナー、オフィス【想】ネットワーク代表)
内容	自分を知り、自分も相手も心地よいコミュニケーション術を講義とロールプレイで学ぶ。
参加費	12,000円(テキスト代込)※単発参加1回3,500円
広報手段	協会HP、Fナビ、FB、メールマガジン、ちらし

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

アサーティブ入門講座を受講した有志が声をかけあい、講師を招いて自主勉強会を続けてきたものを、さらに発展させて市民企画として運営、講座を実現させたことに独自性があった。各回の企画内容から、参加者がリラックスして過ごせるようお茶の用意や部屋づくりまで、ていねいに準備されており、参加者ほぼ全員が講座内容に「満足」と回答。20代から60代までの幅広い年齢層、広範囲の地域から男女ともに参加があった。

センターとは相互理解、事業の円滑な遂行ができた。悪天候による突発の日程変更時も連絡をとりあい、スムーズに運営、開催できた。

低価格ではないにもかかわらず、3か年を通じて、おおむね安定的に集客し、コミュニケーションを学ぶ意味を多くの人に伝えられたのではないかと。市民が市民に伝える手法も成功し、小さなコミュニティの活性化の第一歩につながった。

◆グループ

受講者各自が抱える課題を実際のケースにあてはめ、コミュニケーションの方法を学んだ。受講者はそれぞれ新しい発見を見出し、回を重ねるごとに変化を感じることできた。満足度がほぼ100%だったことから、この講座の必要性や有意義な時間を提供できたことが、主催したグループとして嬉しいことだった。



【市民企画講座・ワークショップ④】

男女共同参画センター横浜南

事業名	おもしろ科学体験塾 in みなみ
企画テーマ	世代／ジェンダー／雇用格差解消に向けた取り組み
グループ名	NPO 法人 おもしろ科学たんけん工房 横浜東
グループ概要	科学する楽しさと手づくりで何かを完成させる喜びを体験できる機会を提供するため、横浜市内で科学実験、手づくり理科工作、自然観察などを行う「おもしろ科学体験塾」を開催。2002年4月設立。 HP http://www.tankenkobo.com
協働年	2011年度、2012年度、2013年度 ※事例は2013年度

○実施概要

目的	男女問わず子どもたちの科学への関心を広げるため、身近にあるものを題材に実験・手づくり工作等を行う内容で、科学の楽しさを知ってもらい、子どもたちだけではなく保護者へも関心を広げることにより、親子間の会話を増やし、男女問わず理科好きの子どもを育てる。
日時	2013年6月22日、7月27日、9月28日、10月26日、11月23日、12月21日、2014年1月25日、2月22日、3月22日 全9回 すべて土曜日 13:30～16:30
場所	男女共同参画センター横浜南 会議室
対象	小学4年から中学2年
参加者数	定員216人 申込者数173人 参加者数150人
講師	おもしろ科学たんけん工房 内部講師
内容	身近にあるものを題材に科学実験や理科工作を体験する。
参加費	各回733円(平均、材料費込)
広報手段	協会HP、Fナビ、グループHP、近隣小学校へのチラシ配布

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

平均で80%の定員充足率を維持していた。近隣校の先生方と信頼関係を築き、繰り返しチラシを配布に出向かれるなど地道な努力が奏功していた。参加者の満足度も平均99%と大変高かった。実施回数が多いため、開催場所の確保や広報のための内容確認など、連絡を密に取り、安定した実施につなげることができた。地域の小学校への働きかけ(地域小学校への出張授業等)が実った結果、この3年間多くの子どもたちに参加してもらうことができた。女子の参加も全体の4割を占め、科学の楽しさを知る女子が目に見えて増えてきており、女子の理科への興味・関心を育てる役割も果たしている。

◆グループ

3年前の事業開始以前は、南区内で「科学体験塾」を開催する機会がなく、この地域の小学生が男女を問わずこのような形で科学に接する機会がなかったと思われる。が、センターでの協働開催を通して学校及び保護者の安心感が得られ、地域の子どもたちに科学体験の機会を提供することができた。また、南区内の小学校の先生からも、事業内容に対して高い評価をいただき、学校への出前授業などにつながった。学校と接触する機会が増え、事業の広がりを感している。



【市民企画講座・ワークショップ⑤】

男女共同参画センター横浜北

事業名	障がいのある子とともに“あたりまえに学ぶ、おおらかに働く、ゆかいに生きる”
企画テーマ	みんなで担う子育て
グループ名	マザーズ・ジャケット
グループ概要	横浜市を中心に障がいのある子どもの母親たちが活動する市民グループ。障がい児とその家族の暮らしを知ってもらい、地域に共に生きる人として理解しあう社会づくりを目指す。2001年4月設立。 HP なし
協働年	2011年度、2012年度、2013年度 ※事例は2012年度

○実施概要

目的	障がい者を含め、さまざまな人があたりまえに学び、働き、生きることができると社会づくりをめざす。
日時	2012年 ①11月4日(日)②11月12日(月)③11月19日(月)④12月2日(日)⑤10日(月) 全5回 ①～③10:00～12:00④13:30～15:30⑤10:00～12:30
場所	男女共同参画センター横浜北 セミナールーム・レクチャールーム
対象	一般市民
参加者数	定員140人 申込者数112人 参加者数112人(5日間のべ)
講師	岡崎勝(小学校教員)、ケアホーム「下宿屋」の住人のみなさん・牧野賢一(ケアホーム「下宿屋」ホーム長)、笹島君枝(アフリカダンスの伝え手)
内容	①②講演会、③映画鑑賞会、④アフリカダンスワークショップ、⑤感想等おしゃべり会 ※単発参加可
参加費	①・③・④500円、②・⑤無料
広報手段	協会HP、Fナビ、チラシ、知人

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

この協働事業は障がい児をもつ親たち当事者による、社会の「障がい観」「幸福観」を見つめなおす機会として企画されている。2012年度は、発達障がいの子どもの学び、地域で暮らすグループホームの取り組み等、当事者視点に沿ったテーマを取り上げたその意義は大きく、参加者の満足度は高かった。グループ独自のネットワークを通じて、一定の集客はできたが、成人後の就労テーマには関心が低く、事前申込み制でなかったため、講座当日まで集客状況が把握できず、十分な広報ができたか課題は残る。

講座の運営面では、市民企画での実績や相談活動等経験豊かなグループであったため、安定した運営ができた。障がいの有無により社会参画の可能性を排除しない、というこのような活動を当事者性の高いグループと共に広げていくことができた。

◆グループ

生命尊重や障がいのある人の人権について、当事者ではない人たちに、自分たちの社会の問題として考えてもらいたいという本講座の目的を果たすことができたのではないかと感じている。

定員を充足することは難しかったが、参加人数が少なかったからこそ、参加者同士が交流をもてたり、充実した時間を過ごしてもらえたと思っている。



【市民企画講座・ワークショップ⑥】

男女共同参画センター横浜北

事業名	パパのベビーマッサージ
企画テーマ	みんなで担う子育て・男性にとっての男女共同参画
グループ名	HAPPY FAMILY PROJECT 横浜チーム
グループ概要	父親が妊娠・出産を共に学ぶことで、育児を身近に感じてもらい、男女ともに子育てを楽しむ土台作りを応援する市民グループ。2012年12月設立。 HP http://www.ac.auone-net.jp/~birth-co/
協働年	2013年度

○実施概要

目的	ベビーマッサージを通して、父親に育児参加に対する自信をつけてもらうことが目的のひとつである。「産後クライシス」に陥らない夫婦関係の構築のきっかけになるよう促す。
日時	1回目 2013年9月8日(日) 13:00~14:30 2回目 2014年1月18日(土) 13:00~14:30
場所	男女共同参画センター横浜北 健康スタジオ
対象	生後2ヵ月~ハイハイ前の乳児とその親
参加者数	定員30組(各回15組)、申込者数27組、参加者数23組
講師	大間知和奈(HAPPY FAMILY PROJECT 横浜チーム メンバー)
内容	ベビーマッサージの体験・誕生学(出産当日の話)から子育ての幸せを学ぶ
参加費	1組1,000円
広報手段	協会HP、Fナビ、チラシ、こくちーず

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

定員各回15組のところ9月は12組、1月は11組の参加があった。グループからの声でも広報についての振り返りが記載されているように、乳児を持つ父親(パートナーに参加を勧める母親も)へのPRが難しかった。

参加者満足度は100%で、担当が注目した母親からの意見には、「パパと子どもが楽しそうにしている姿を見て、とても嬉しかった」というものがあった。父親がマッサージをしている姿を母親が写真撮影する姿も多く見られた。母親は「ベビーマッサージを学ぶこと」よりも「父親が子どもに積極的にかかわること」に喜びを感じていたようだ。ベビーマッサージを通して父親が育児に対する自信をもち、積極的に育児参加することは、女性のワーク・ライフ・バランスの応援になり、夫婦間の「産後クライシス」の予防につながる。男性の育児参加へのきっかけづくりと「楽しさ」の実体験を通し、女性の社会進出の助けや育児による肉体的・精神的負担の軽減を図ることを目的とする取組は、女性の労働力率のM字カーブの谷が深い横浜市の地域課題の解決に役立つと考える。

◆グループ

広報についてはセンターにお任せになってしまい、もっと話し合う必要があったのではないかと感じている。フェイスブックの活用などグループとしてできることがまだまだあったのではないかと思う。講座中は、家族の絆を深めている様子が見受けられ、参加者の心にアプローチできたことを嬉しく感じている。今回協働させて頂いたことで私たちの思いを届けたい世帯に参加していただくことができ、男性の育児参加を呼びかける企画になったと思う。



【地域出前企画①】

男女共同参画センター横浜

事業名	ろう・難聴女性のエンパワメント
企画テーマ	仕事とくらしの両立・女性の心とからだと性の健康
グループ名	Lifestyles of Deaf Women
グループ概要	女性のライフステージにおいて様々な課題を持つろう・難聴女性が、前向きに自分のライフスタイルを創り出し、従来の見方とは異なる視点で社会に向けて情報発信するために2006年設立。 HP http://rumineko2006.blog40.fc2.com/
協働年	2012年度

○実施概要

目的	「女性であること」と「障がいがあること」で二重にマイノリティである、ろう・難聴女性が集まり、仕事や子育てについて話し合い、社会に発信して自らをエンパワメントする。
日時	1回目 2012年9月9日(日) 14:00～16:00 2回目 2012年11月23日(金) 13:00～15:00
場所	1回目 横浜ラポール 2回目 スペースナナ
対象	ろう・難聴女性とテーマに関心のある人一般
参加者数	定員 1回目 40人 2回目 10人 申込者数 1回目 20人 2回目 4人 参加者数 1回目 31人 2回目 4人
講師	1回目 長谷川晃子(JAXA 宇宙科学研究所 衛星運用グループ) 2回目 Lifestyles of Deaf Women スタッフ
内容	1回目 「宇宙に憧れて～“今”に挑み、“未来”を拓こう～」 2回目 「ろう・難聴女性のキャリア～自分らしい生き方や働き方を考える」
参加費	1回目 1,000円/2回目 300円
広報手段	協会HP、Fナビ、チラシ、タウン紙、グループのブログ・メーリングリスト、手話サークルメーリングリスト

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

聞こえる人が大多数の環境の中で難聴女性がキャリアを積むことや、子育てすることは容易でない。職場や子育てする地域で孤立し悩んでいる若いう・難聴女性が自ら企画して、当事者がつながれる話し合いの場を設け、自身で講演したことは、コミュニケーションに関して傷つき体験のある人が多い当事者のエンパワメントになった。当事者同士の話し合いの場へのニーズと満足度は高く、今後も同様の集まりを継続したいとの声が多かった。障がいを持つ女性が自らをエンパワーし、理解を社会に広げようとする当事者の主体的な取り組みを協働事業を通じて後押しし、実現につなげることができた。

◆グループ

ろう・難聴女性当事者のスタッフが講座運営を通して、企画進行や司会、人前での発表など未経験の分野に挑戦し、自分の経験や意見を述べたりすることで自信をつけていく姿が見られた。スタッフ自身が主体的に企画進行に関わっていけるようになったことこそがエンパワメントであった。実施した事業の参加者の中から「横浜市内のろう・難聴女性のネットワーク」を作る動きが始まり、メーリングリストを開設するなど、地元で新たなつながりが形成された。地元での、ろう・難聴女性を取り巻く生活環境が改善されてゆくことを願っている。



【地域出前企画②】

男女共同参画センター横浜南

事業名	シニア女性とティーンズが出番！ 情報をつかんで生き残れ！異世代で考える減災・防災術！！
企画テーマ	誰もが安心して暮らせる地域づくり
グループ名	NPO 法人 シャーロックホームズ
グループ概要	1998年4月設立。子育て支援をテーマに情報の収集や提供、横浜市の「親と子のつどいのひろば」、「放課後キッズクラブ」の運営などを継続的に展開。HP http://sherlock.jp/
協働年	2012年度(男女共同参画センター横浜北)、2013年度 ※事例は2013年度

○実施概要

目的	シニア女性と10代の若者がワークショップ等を通して出会い、自らできることを確認し、相互に協力しあえる地域の仲間であることを認識して「地域でできる防災・減災」を考える場を提供する。
日時	2013年8月19日(月)、10月24日(木)、12月21日(土) 10:00~12:00
場所	横浜市立南中学校、南図書館
対象	地域のシニア女性・横浜市立南中学校生徒
参加者数	定員50人 申込者数58人 参加者数50人(3日間のべ)
講師	鈴木 光(総務省消防庁防災図上訓練指導員、防災ファシリテーター)、 宮島真希子(NPO法人シャーロックホームズ理事、NPO法人コミュニティデザインラボ理事)
内容	南区で発生が予想される大地震について、ハザードマップと古地図を比較し安全な場所を確認する。災害伝言ダイヤルの使い方(シニア編)や、簡単な防災ホームページ作成(ティーンズ編)など、災害時に役立つIT情報を学ぶ。
参加費	無料
広報手段	地域のキーパーソン・中学校校長への情報提供、チラシ配布等

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

センターの2カ年にわたるシニア女性の防災力に着目した老人クラブとの地域連携事業の実績と、NPOが得意とする情報分野の事業実績が協働事業として互いに活かされた。綿密な事前調査と調整を伴うオーダーメイド的な事業で、そのプロセスを良好な形で進めた。

2012年度の地域出前企画講座では「対象エリアと年齢層が広範囲で総論的になった」という反省から、2013年度は南区のシニア世代と10代の若者に限定し、より地域に密着した内容で企画した結果、各回とも定員を超える申込みがあり、各回の満足度は90%以上であった。

シニア女性が携帯で伝言ダイヤルの方法を学び、中学生に昔ながらの地域情報を伝承する、中学生も災害時の情報発信への意欲を見せるなど、シニア女性の防災力開発、地域の異世代間交流を促す結果となり、地域防災の課題を解決する新たな可能性を示すことができた。

◆グループ

「異なる世代」「異なる文化」「異なる地域」など、様々な「異なる」同士の交流を意識しつつ、幅広い観点からの関わりが持てた。3回の講座を通じて、南区の一部ではあるがシニア世代と中学生が接点を持つきっかけ作りができたので、今後は皆さんがどんどんその輪を広げてくれればと願っている。



【地域出前企画③】

男女共同参画センター横浜北

事業名	LGBT から辿る 多様性を踏まえた人間関係の構築
企画テーマ	誰もが安心して暮らせる地域づくり
グループ名	NPO 法人 ReBit ※2013 年度当時は任意団体
グループ概要	LGBT(L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーの総称)問題を切り口として、『互いの違いを受け入れあえる社会』を次世代に創出することを目指し 2009 年 12 月に設立した学生主体の当事者団体。 HP http://lgbtseijinshiki.tumblr.com/tagged/about
協働年	2012 年度、2013 年度 ※事例は 2013 年度

○実施概要

目的	「性の多様性を身近なこととして知り、既存の性別概念に捉われず、違いを尊重し関係を築く大切さを考える」きっかけとする。
日時	1 回目 2013 年 11 月 13 日(水) 14:50~16:20 2 回目 2013 年 12 月 18 日(水) 11:00~12:30
場所	1 回目 東洋英和女学院大学 2 回目 神奈川県立鶴見総合高等学校
対象	1 回目大学生 2 回目高校生
参加者数	1 回目 90 人 2 回目 17 人
講師	NPO 法人 ReBit メンバー
内容	LGBT 基礎知識の講義、グループワーク、クlostーク(進行役と複数のスピーカーが並ぶスタイル)を組み合わせたプログラム
参加費	無料
広報手段	男女共同参画センターのインターンシップ実施校、過去の出前授業実施校、横浜市教育委員会、神奈川県教育委員会

○協働事業シートにおける振り返りコメント

◆センター担当者

この企画は、学生と年齢の近い LGBT 当事者である ReBit 大学生メンバーが教室に出向き、体験談やグループワークなどで構成される授業を行うもので、違いを尊重し合う関係づくりの体験となるよう工夫されている。学生は複数のメンバーの体験談により、多様性を踏まえた人との関係づくりへの理解を深め、LGBT というテーマを身近なこととして感じる事ができた。

2013 年度は、2012 年度に教員向け講座を実施した高校で、生徒向け講座を実施でき、事業の幅を広げた。2 回の出前授業以外に、本事業への応募がきっかけとなり、横浜市、神奈川県の教育委員会の指導主事向け研修の依頼を受け、顔の見えるつながりができたことから市内の学校向けの出前授業依頼(2013 年度 10 回)へと発展した。

LGBT 問題は新しいテーマであり、学校の研修計画や授業の中に位置づけてもらうことはむずかしいのが現状だが、当事者の体験を高校生・大学生とわかちあうことのできる出前授業は、理解を広めるための有効な手法である。

◆グループ

出前授業に随行したセンター担当者からプログラムや進行への感想を聞き、改善を話し合った。協働事業であるからこそその「質の向上」が可能となった。また、センターとの協働により、事業への信頼性を高め、横浜市内外の学校及び教職者へのアプローチがしやすくなった。実績としてはこの企画以外に、横浜市内の学校での授業を 10 回開催した(2012 年度は 3 回)。



【啓発教材・調査研究企画】

男女共同参画センター横浜

事業名	セクシュアル・マイノリティ理解のために～子どもたちの学校生活と ところを守る～
企画テーマ	誰もが安心して暮らせる地域づくり
グループ名	NPO法人 共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国 ネットワーク
グループ概要	セクシュアル・マイノリティへの根強い偏見を解消し、その視点を国や地方自治 体の政策に反映させるため、当事者、支援者、専門家などで構成される全国 組織。2008年に任意団体として発足。2012年にNPO法人に認定。 HP http://www.kyouseinet.org/index.html
協働年	2009年度

○実施概要

目的	セクシュアル・マイノリティの生徒の自己肯定感の低下や学校での孤立 化を防ぎ、セクシュアル・マイノリティの人権教育促進と個々の「性」 を尊重する社会づくりに貢献する。
対象	思春期の児童・生徒の教育や支援に関わる教師、養護教諭、支援者等
企画／制作	共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク教育PT
内容	60分程度のDVD教材 100部 【STEP1 知る】図解「性」の多様性(8分) 【STEP2 聴く】学校生活とところ(31分) 【STEP3 つながる】親と教師のための支援情報(12分) 【特典映像】FtM 悠介君のこと(5分)
販売費	一般価格 1,500円、ライブラリ価格 4,500円(税込・送料別)
広報手段	協会HP、グループHP、横浜市立中学校及び高校への案内状

○協働事業シートにおける振返りコメント

◆センター担当者

本事業は、当事者性の高い独自企画で、セクシュアル・マイノリティの子どもが学校で孤立しない
よう、基本的知識と体験談から学ぶ当事者のこころ、親と教師のための支援情報などが、コンパクト
できめ細やかに情報提供されている。

出演者のプライバシー尊重のため、出演者への趣旨説明やインタビューの編集・校正には慎重
を期し、個人との信頼関係を大事に取り組む姿勢が一貫していた。その結果、時間はかかったが、
企画者・協力者双方にとって納得度の高い制作物に仕上がった。DVDの初版は、横浜市内の学
校に無料配布した。その後は同NPOが重版し、有料で販売している。また、2011年3月にはDVD
の副読本として「親と教師のためのセクシュアル・マイノリティ入門ハンドブック」が制作され、DVDと
併せて教員向けの研修や各地での上映会に活用されている。当事者の声をわかりやすく伝える媒
体として高く評価され、団体の事業展開にも寄与した。

◆グループ

DVD制作により、セクシュアル・マイノリティの多様性を基礎から視覚的
に解説し、当事者の生の声を視聴者に伝えることができたのが最大の利
点。セクシュアル・マイノリティの存在を身近に感じてもらえること、また支
援者側が自らの行動を振り返るきっかけを提供することで、個々の「性」の
尊重を社会に訴えていくことができると実感している。自治体職員の研修
にも役立つ貴重なツールとなっており、再版を機に、聴覚障害のある方
のための日本語字幕と、外国語圏のための英語字幕をつける計画である。



4 選考委員からのメッセージ

男女共同参画センターの「市民・NPO がつくる男女共同参画事業」は男女共同参画の視点から地域課題の解決に資する事業を選考し、市民グループ・NPO 等との協働により、それぞれの特徴、強みを生かし、地域課題の解決に役立つ事業をより効果的に市民に提供することをめざしています。

NPO 法人市民セクターよこはま理事長で本事業の審査委員である中野しずよ氏および審査委員長である男女共同参画センター横浜館長より本事業のよりよい活用に向けてのメッセージを、寄稿してもらいました。

●中野しずよ（NPO 法人 市民セクターよこはま理事長）

本事業に応募するグループの中には、他者のため地域のためというよりは、自分の能力の発揮が目的になっており、社会貢献や誰かの「お役に立つ」意識が低いグループが見受けられます。選考に関わる中で、期待する企画は、

①地域課題を解決するべく行う企画

地域とつながりがあるグループによる、ヒアリングや実態調査を行って課題を把握した上でその課題解決に向けて提案された企画。

②専門性を持った人の集まったグループによる専門性を提供する企画

ファイナンシャルプランナーによる、女性を家族のケア役割から解放するための「介護保険の上手な使い方」など。

③社会の考えを根底から問い直すような企画

社会の矛盾を取り払うような事業も期待したい。例えば、セクシュアル・マイノリティの当事者団体による事業など。

本事業は、地域とつながりのある団体に、社会や地域の課題を解決するために活用されることを期待します。

●岩船弘美（男女共同参画センター横浜 館長）

本事業の選考基準は、以下のとおりです。これら 6 つの評価項目を点数化し、全委員の合計点順に決定しています。

① 男女共同参画の視点に基づく企画であること。

② 現代の社会の流れや地域のニーズに合い、市民にわかりやすい内容で、かつ多くの市民の参加が見込まれること。成果物がセンターおよび地域で活用できる内容であること。

- ③ 解決しようとしている課題と対象者層が明確であること。解決の手法が課題や対象者層に合っていること。
- ④ 独創性に富んでいること。
- ⑤ 実現性が高い企画であること。
- ⑥ 男女共同参画センターが協働することにより、成果が期待できること。

特に重視するのは、「①男女共同参画の視点に基づく企画であること」で6項目中最も高い配点となっています。男女共同参画とは、男女が共に仲良く参加するということではありません。応募者は男女共同参画の主旨を理解しているか、社会的な男女格差をふまえて課題を設定しているか、男は仕事、女は家庭といった男女の固定的な役割を助長していないか、多様性を認め、だれをも排除しない人権尊重の視点があるか、などが応募用紙やプレゼンテーションで的確に表現されているかを見ます。この事例集でとりあげた企画は、いずれもこれらの点において評価を得たものです。男女共同参画というと、難しい、わかりにくいという声もありますが、今後の参考として内閣府や横浜市の男女共同参画施策をWEBで検索することや、男女共同参画センターの情報ライブラリで関連資料を利用することをお勧めします。そのうえで、市民活動の強みを生かし、地域の身近な課題に引きつけた企画が出てくることを期待します。

5 2011年度～2013年度の当協会における市民企画一覧

※グループの名称は実施年次のものです。

2011年度

事業名：市民・NPOがつくる男女共同参画事業

(1) センター横浜

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15万円上限

	グループ名	テーマ
1	NPO 法人ティーンズサポート	高校生・大学生及び教育者向け性教育及び健康教育講演事業
2	きらっとFPサポート	高校生のための自分で描くキャリア&ライフプラン

② 啓発教材共同開発事業 ※資金援助 50万円上限

1	女性サポートセンター Indah (インダー)	治療共同体に入所している女性アルコール依存症者の回復過程における性役割葛藤に関する調査
---	-------------------------	---

③ 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜西	おもしろ科学体験塾 (戸塚塾)
2	「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会	高齢期の安心生活とご縁をつなぐ「シニア・ハマ・カレッジ」
3	チーム ピース チャレンジャー 横浜支部	児童労働ノンフィクション映画「アナン」上映会と講演・交流会
4	charming school	ママだけじゃない！パパも子育て大作戦！
5	NPO 法人日本空手松涛連盟 横浜東松涛館	女性のための空手道講座
6	NPO 法人ハートフルコミュニケーション 神奈川支部	子育ては自分育て！素敵に自立した親になる
7	ファルク	今年もやりますファルクセミナー2011 食べ物依存症の回復
8	ゆめひもフレンドシップ横浜	クラフトボランティア育成プログラム「ゆめひもレッスン」
9	Yokohama Gender E	ネット・ケータイ社会は危険、正しく、楽しく利用しよう！
10	ルチア	染めて、作って、心と体をいやそう

(2) センター横浜南

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15万円上限

	グループ名	テーマ
1	よこはま・かなざわ パパ・クラブ	よこはま南パパ・スクール～笑っているパパになろう！

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	大きな木の会 アサーティブ自主グループ	小さなコミュニティのファシリテーター養成講座～今ここで、アサーティブに生きること
2	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜東	おもしろ科学体験塾 (南塾)
3	子どもの本アニメーション倶楽部	読書へのアニメーションで親力アップ

4	生涯学習音楽指導員研究会ネットワーク神奈川横浜南地区「音のゆめ」	みんなの音楽塾～子どもから大人、高齢者まで～
---	----------------------------------	------------------------

(3)センター横浜北

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	NPO 法人“共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク	子どもと「性とコミュニケーション」を考える出前授業
2	市民劇団オンリーワン	デート DV の朗読劇上演

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	映像グループ ローポジション	ドキュメンタリー映画「タケオ～ダウン症ドラマーの物語」上映
2	踊り場	心の扉はダンスが開く！ 社会を切り拓く女性のための自己表現力向上ワークショップ
3	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜北	おもしろ科学体験塾(横浜北塾) / 科学体験活動推進スタッフの養成研修
4	NPO 法人“共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク	セクシュアル・マイノリティが暮らしやすい社会は、みなが生きやすい社会
5	スペース ナナ	みなが安心して暮らせる地域をつくるために
6	hamaroma (横浜発信アロマセラピー集団)	男のアロマ
7	ひなたぼっこ	みんなで子どもを見あって りらっくすヨーガ♪
8	Boca*Chica (ボカチカ)	Boca*Chica Class きいて うたって うごかして
9	マザーズ・ジャケット	連続講座 障がいのある子とともに ”障がいがあっても豊かに生きる”
10	ゆっくり水彩カフェの会	色で遊ぶとココロが軽くなる！ゆっくり水彩カフェ

2012 年度

事業名：市民・NPO がつくる男女共同参画事業

(1)センター横浜

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	Lifestyles of Deaf Women	ろう・難聴女性のエンパワメントを目的とした講演会
2	きらっと FP サポート	高校生のための自分で描くキャリア&ライフプラン

② 啓発教材共同開発事業 ※資金援助 50 万円上限

1	在宅ワーク研究会	自宅拠点型の働き方検証
---	----------	-------------

③ 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	NPO 法人エンパワメントかながわ	デート DV 防止スプリングフォーラム～つながりを、今、大きな力にするために～
2	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜西	おもしろ科学体験塾 in 戸塚
3	きらっと FP サポート	女性のためのマネーコントロール術～災害対策編～

4	シニア・ハマ・カレッジ	シニア・ハマ・カレッジ1周年シンポジウム「～地域のつながりの中で～期待されるシニアの活躍～地域でつかむ楽しい居場所と出番」
5	NPO 法人女性サポートセンター Indah (インダー)	女性アルコール・薬物依存症の施設からの自立に向けて～新たな旅立ち～
6	Women's Happy Project	「妊娠・出産準備準備教室」～ココロの準備とからだ作り～
7	Lifestyles of Deaf Women	ろう・難聴女性のエンパワメント～自分らしい生き方や働き方を考える
8	ルチア工房	夏休みふれあい企画～親子で楽しむ夏料理とTシャツ染め～
9	ワークライフコミュニケーションズ	災害時に生き残るための情報を得るには？

(2)センター横浜南

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	NPO 法人こころ the 士業	メンタルヘルス対策とこれから求められるワーク・ライフ・バランス

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	大きな木の会	ココロが楽になるコミュニケーション講座
2	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜東	おもしろ科学体験塾 in みなみ
3	ファイバーリサイクルネットワーク	夏のリサイクルきものフェア

(3)センター横浜北

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	Re:Bit	LGBT からみる、みんな違っていいよね。と言える関係作り
2	NPO 法人シャロックホームズ	情報をつかんで生き残れ！今日からできる地図&twitter 減災術

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	あおばバリアフリーコンサートの会	あおばバリアフリーコンサート
2	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜北	おもしろ科学体験塾 in あざみ野
3	胡桃の庭	女性のための養生&スープ&漢方的養生法
4	チーム WITH	つながるヨーガ
5	Fonte Project (フォンテプロジェクト)	こころとからだでつながるワークショップ
6	マザーズ・ジャケット	連続講座 障がいのある子とともに“あたりまえに学ぶ、おおらかに働く、ゆかいに生きる”
7	ゆっくり水彩カフェの会	色で遊ぶとココロが軽くなる！ゆっくり水彩カフェ
8	リフレーム・ナビ	私の人生の描き方
9	Re:Bit	互いの違いを尊重し合うクラス作り

2013 年度

事業名：市民・NPO がつくる男女共同参画事業

(1)センター横浜

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	一般社団法人 Turn to Smile (たんとすまいる)	わたしに微笑むためのメイクレッスン

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房	おもしろ科学体験塾 (戸塚塾)
2	在宅ワーク研究会	在宅勤務、クラウド、テレワークは可能性をひらくか？
3	しあわせ一輪ゆめプロジェクト	ごほうび講座～キッチンシリーズ・・・簡単なのにお見事！キッチン裏技
4	ソーシャル・IT コンシェルジュ グループスマートウーマン	ママ&女性のためのフェイスブック入門
5	一般社団法人 Turn to Smile (たんとすまいる)	わたしに微笑むためのメイクレッスン
6	NPO 法人フィットネスビューティ 100	からだときもちのリフトアップ・ストレッチ
7	NPO 法人和の環	女も男も大丈夫！「おひとりさま安心セミナー」

(2)センター横浜南

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	NPO 法人シャーロックホームズ	情報をつかんで生き残れ！異世代で考える減災・防災術！！

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

	グループ名	テーマ
1	大きな木の会	ココロが楽になるコミュニケーション講座
2	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜東	おもしろ科学体験塾 (南塾)
3	ファイバーリサイクルネットワーク	夏のリサイクルきものフェア (講習会有り)
4	Women's Happy Project	「妊娠・出産準備教室」パートナーとご一緒に

(3)センター横浜北

① 地域出前企画 ※資金援助 1G15 万円上限

	グループ名	テーマ
1	Re:Bit	LGBT から辿る 多様性を踏まえた人間関係の構築

② 市民企画講座・ワークショップ ※助成なし

1	We フォーラム実行委員会	We フォーラム 2013 in よこはま
2	ウーマンズ・アート・ワーク”ラップ・ママ+”	演劇ワークショップ「ココロとカラダでコミュニケーションを考えよう」
3	NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 横浜北	おもしろ科学体験塾 in あざみ野

4	胡桃の庭	女性のためのおうちでできる季節の薬膳
5	HAPPY FAMILY PROJECT 横浜チーム	パパのベビーマッサージ
6	ひなたぼっこ※決定後辞退	みんなで子どもを見合っ て りらくす ヨーガ♪
7	マザーズキャリアナビ	私の人生の描き方
8	マザーズ・ジャケット	連続講座 障害のある子とともに Part7
9	ゆっくり水彩カフェの会	色で遊ぶとココロが軽くなる！ゆっくり水彩カフェ
10	Re:Bit	LGBT 理解から始める、いじめを生まない教室づくり

横浜市男女共同参画センター
市民・NPO がつくる男女共同参画事業 事例集

発行 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会
男女共同参画センター横浜
〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1
電話：045-862-5052
FAX：045-862-3101
URL： <http://www.women.city.yokohama.jp>
発行年月 2014年12月発行